

青森県議会議員

山田
さとる県政レポート
2010年春号

山田さとる事務所

八戸市新井田山道3-6

TEL 0178-25-6108

FAX 0178-25-6168

発行にあたって

新たな年度、いかがお過ごしでしょうか。入学・就職・退職・転入・転出などで慌ただしい時期を迎えている事と思いますが、新たな環境の中でそれぞれの皆様のご活躍をお祈り致します。さて今回は、「新幹線開業がもたらすもの」をお伝えします。新幹線が青森市まで延伸開業されます。開業は地域に何をもちたらし、どんな影響を与えるのか、今回は新幹線がもたらす「光」や「陰」、また八戸としていかに生かせるのかについてポイントを絞ってみました。皆さんとともにそのあり方について考えてみたいと思います。

新幹線開業がもたらすもの

2010.12 東北新幹線
新青森駅開業

2010年12月新幹線新青森駅開業、いよいよ青森市への新幹線の到達があと半年と迫ってきました。

県民の悲願と言われ続けてきた新幹線青森延伸は青森県に何をもちたらすのか、その光と陰、また八戸での生かし方について皆さんと考えてみたいと思います。

1. 光 <地域経済を潤すチャンス>

新幹線開業の「光」として地域経済の活性化が期待されます。新幹線は、大量に人・情報・カネを運ぶと言われますが、その最大の武器は「速さ」です。安・近・短が好まれる時代、新幹線によって短い時間で早く移動ができるという事は、観光・ビジネス客は、短時間で移動をする事ができる事になりますし、企業に対してもポテンシャルが高まる事で企業誘致の上からも強力なPRになります。このように利用者の利便性が高まる事から地域経済を潤すチャンスになります。

陰 <雇用や消費流出の懸念>

新幹線開業の「陰」としては、雇用や消費流出が挙げられます。新幹線は「人」「物」「カネ」を運ぶと言われます。八戸開業で感じている人も多いと思いますが、盛岡や仙台、また東京などとの移動時間が大幅に短縮された事から大手企業の営業所などが撤退、雇用が失われ、不動産物件がだぶつくなどの直接的な影響がでたほか、これにともなって地元消費も減退しているという仕組みになります。消費傾向を見ても移動時間の短縮に加えてJRなどによるお得な乗車券やお買い物付き乗車券の発行などで、結構な人がこれらを利用し、仙台のショッピングモールや東京でのレジャーに消費し、消費がどんどん吸い上げられている状況にもある事から、現状では新幹線が「人」「物」「カネ」を運んでくるよりは、運ばれているといった方が適切かと思えます。

< 並行在来線の経営負担 >

新青森駅開業が「光」とすれば並行在来線は「陰」です。並行在来線とは、新幹線とほぼ並行して走行している現在の東北本線です。青森開業にともなって八戸青森間が JR 経営から分離されて青い森鉄道が運営する事になります。これまで「光」の部分が多く報道されていましたが、実は、開業と同時に背負う事になる「陰」の部分の八戸青森間の経営が大きな問題です。開業に伴って、この区間の鉄道資産を JR から買い取り、職員を配置して運営しなければならないので大変な問題です。鉄道利用者の利用料のみでは到底経営できません。並行在来線の経営分離は新幹線着工の前提条件で、当時はやむおえなく受け入れした事と思いますが、着工当事と経済環境が大きく変化して、青森県の財政のみでは到底まかないきれません。少なくとも国の物流の骨格路線として貨物列車が北海道から関東まで多くの食料等を運搬している状況を考えると、その区間の路線維持に係る支援を JR 貨物や国に求めていく事は当然で、現在、国の財政支援スキームの策定を見守っている状況下にあります。

2. 八戸としていかに生かすのか

新幹線八戸開業から早5年、新幹線は北へ延伸して12月には青森市まで開通する事となります。県庁や津軽人的には待望され、八戸的には通過駅になるのではとの懸念から歓迎されない意見も多く聞かれますが、現実には開業が迫っている中、第2の開業ととらえ、いかに取り組んでいくのか? 観光的には、八戸開業時は利用客の目線が八戸に向いていましたが、今度は「青森」に向くので、いかにして「八戸」を向いてもらうのか? 屋台村やB級グルメ、産業観光、新鮮な魚介類、景勝地、朝市、朝風呂などミニ東京、ミニ仙台でない「八戸ならではの」観光コンテンツの発掘と磨き上げにかかっていると思います。産業面でも観光を当て込んだ商品開発や事業展開など近場を参考に盛岡や津軽地域に負けない取り組みが欲しいと思います。もちろんそれらを展開する上での金融支援も含めた産業化の実現が求められます。

子ども支援について



鳩山政権が掲げる「子ども手当」や「高校授業料無償化」が始まります。また県独自に私立高校への授業料の上乗せ補助も新たに取り組みがスタートとなります。子ども支援策のあり方については、意見が分かれるところですが、子どもを育てる取り組みについて皆さんとともに考えてみたいと思います。

1. 子ども支援に求められるもの

子どもを育てる支援には、どのような事が求められるのでしょうか？もちろん子どもを持つ親の経済事情や家族構成、子育て観などによって求められるニーズに違いがあるかと思いますが、大きく分類すると子どもを持つ家庭への直接支援をする現金給付と子どもを預ける環境整備、これには主に「質」「量」とに分けられると思います。子どもを育てる環境支援の意味では一緒に、それぞれ直接・間接的な支援策、どちらもバランスをとった政策が求められるのではないのでしょうか？



「まちかどスピーチ」

県政が抱える課題や、県議会で取り上げて発言した内容を中心にお伝えする「情報発信活動」の一環として、毎朝市内随所で行っております。

ある寒い日に、いつも通り「まちかどスピーチ」を行っていましたが、男性の方が私に何か言いたげな顔で向かってきます。
「何か言われるのかな…」と想着いたら、その方は「寒いところ、ごくろうさん」と温かい缶コーヒーを私にくださいました。
いただいたコーヒーも温かかったのですが、それ以上に気持ちの温かさがとてもうれしかったです。いろいろな所で、いろいろな方にやさしさをいただき、勇気づけられながら、今日も市内のあちこちで情報発信に取り組んでおります。



山田 さとる プロフィール

- | | | |
|-------|-------------------|----------------------|
| 昭和45年 | 2月20日生まれ | 青森県議会民主党派 所属 |
| | 新井田小学校・大館中学校 卒業 | 青森県議会商工労働エネルギー委員会 所属 |
| 昭和63年 | 青森県立八戸南高等学校 卒業 | 北東北若手議員の会 会長 |
| 平成 5年 | 日本大学農獣医学部拓植学科 卒業 | 青森ウエイトリフティング協会 会長 |
| | 農林水産大臣 田名部 匡省氏 秘書 | 青森県アームレスリング連盟 会長 |
| 平成 7年 | 八戸市議会議員 初当選 | 日本大学 八戸校門会 顧問 |
| 平成11年 | 八戸市議会議員 当選(2期目) | 県立八戸南高等学校同窓会 会長 |
| 平成15年 | 青森県議会議員 初当選 | |
| 平成19年 | 青森県議会議員 当選(2期目) | |

情報発信しています!

山田さとる公式ホームページでも、情報発信しています。

視察レポート・ニュース・ブログ等を通して、日々の活動や、「まちかどスピーチ」のスケジュール、県政報告会の開催日時のご案内など、最新情報を掲載しています。

◎みなさまの声を県政にお届けします。ご意見・ご感想などをホームページよりお寄せ下さい。



山田さとる 八戸

検索

<http://www.yamadasatoru.com>